

第452号 2018年7月2日
弘前大学総務部総務広報課

イベントのお知らせ

弘前大学深浦エコサテライトキャンパス平成30年度第1回公開講座・
2018年度深浦円覚寺古典籍保存調査プロジェクト成果報告会開催のお知らせ

この度、「弘前大学深浦エコサテライトキャンパス平成30年度第1回公開講座、2018年度深浦円覚寺古典籍保存調査プロジェクト成果報告会 深浦新発見！-円覚寺の古典籍からわかること-」を開催するはこびとなりました。

深浦円覚寺（青森県西津軽郡深浦町）は、大同2年（807年）に坂上田村麿が建立したと伝える真言宗醍醐派三宝院流の寺院です。北前船の寄港地である深浦において、航海の安全を守り、信仰を集めたお寺ですが、その秘仏のご本尊十一面観音が、2018年7月17日から31日まで、33年に一度のご開帳となります。

円覚寺は貴重な文化財を数多く所蔵していますが、2017年より弘前大学が主体となって古典籍の調査を行ってきました。その結果、円覚寺の学僧が本山の醍醐寺で学んで来た密教や修験関係の貴重な書物が発見され、真言宗醍醐派の寺院としての歴史が解明されつつあります。また今回は特別に、円覚寺の本寺である醍醐寺の古典籍調査を率いておられる永村眞先生にお越しいただき、醍醐寺と醍醐寺に伝わる貴重な古典籍について、また円覚寺との関わりについてわかりやすくご解説下さいます。

まだ調査は始まったばかりですが、この一年間の調査結果を、地域の皆様に報告いたしますので、是非ご参加ください。



- 【日 時】 平成30年7月6日（金）12：30～15：00（開場12：00）
- 【場 所】 深浦町役場1階 町民文化ホール
- 【参加費】 無料
- 【申込先】 参加を希望される方は、事前に電話またはFAXで7月2日（月）までに下記申込先へお申込みください。
深浦町教育委員会 教育課
TEL:0173-74-4419（平日8：15～17：00）
FAX:0173-74-3050
- 【問い合わせ先】
弘前大学人文社会科学部総務グループ
TEL:0172-39-3192
e-mail:jm3192@hirosaki-u.ac.jp

平成30年度第1回白神酵母研究会開催のお知らせ

ひろさき産学官連携フォーラムでは世界自然遺産白神山地から採取された酵母（弘前大学白神酵母）の勉強会を開催いたします。身近な食品に使用されている酵母について学んでみませんか。

▽と き 7月25日（水） 午後4時～5時

▽ところ 土手町コミュニティパーク多目的ホールB

▽内 容 弘前大学白神酵母に係る研究発表、活用商品の試飲等

▽参加料 無料 ※事前の申し込みが必要。

▽対 象 どなたでも参加できます。

▽募集締め切り 7月24日（火）

問 ひろさき産学官連携フォーラム事務局（弘前市産業育成課）
☎32-8106

特別講演会「生物の遠隔計測と触覚提示技術」開催のお知らせ

一般社団法人 日本機械学会
ロボティクス・メカトロニクス部門第1地区技術員会

URL <http://sites.google.com/site/robomech02/>

企画 ロボティクス・メカトロニクス部門

共催 弘前大学大学院理工学研究科

弘前大学大学院理工学研究科附属医用システム創造フロンティア

一般社団法人 次世代センサ協議会 東北支部

開催日 2018年8月1日（水） 16:00～18:00

会場 弘前大学理工学部1号館5階 第10講義室（青森県弘前市文京町3）

<http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/info/access.html>

プログラム

(1) 16:00～17:00

「RTと環境駆動で生物の謎に迫る」

講師：妻木 勇一（山形大学大学院理工学研究科 機械システム工学分野 教授）

生物のナビゲーションをシステム科学的に捉えようと、制御工学，データ科学，生態学，神経科学の専門家が結集し，新学術領域「生物移動情報学」がH28にスタートした。生物の体にロガーを取付け，回収し，行動データや生体データを解析するバイオロギングサイエンスは強力な方法の一つである。我々は，ロボットテクノロジーと環境駆動を応用し，マッコウクジラの謎に挑戦するための新しいロガーシステムを開発している。開発中のシステムを中心にこれまでの取組みを紹介する。

(2) 17:00～18:00

「MEMS技術による触覚ディスプレイ素子」

講師：峯田 貴（山形大学大学院理工学研究科 機械システム工学分野 教授）

触覚は視覚と聴覚に次ぐ情報量を検知しうる有効な手段であり，目視が困難な状況におけるハプティック情報伝達，視覚障害者への情報提示，仮想現実(VR)での現実感増大などを目指した有効なツールとして様々な触覚ディスプレイが開発されてきている。MEMS（微小電気機械システム）技術を用いた形状記憶合金(SMA)タイプ等を中心とした超薄型の触覚ディスプレイ素子の開発例と触覚提示への応用について紹介する。

参加費 無料

申込方法申し込みは不要です。当日お気軽にお越しください。

問合わせ先 佐川貢一 / 電話(0172)39-3691
Email: sagawa@hirosaki-u.ac.jp

2018年 弘前大学白神研究会 夏の観察会

「白神山地 ～大川周辺の動いている地すべりの観察～」

▽と き 8月25日（土）午前10時00分～午後3時（雨天決行）

▽集 合 道の駅「津軽白神」（「ビーチ西目屋」）
駐車場（車のない方はお申し出下さい。9時弘前大学正門集合）

▽コース 大川林道終点手前サンスケ沢地すべりーナベクラ沢対岸地すべりー大川林道終点

▽参加人数 20名

▽対 象 小学4年生以上（小中学生は保護者同伴）3時間ほど歩きますので、高血圧、心臓疾患など持病のある方は、医師にご相談の上、慎重に参加ご検討下さい。

▽服装・装備 服装はハイキング用で十分です。手袋、帽子があるといいです。雨具は必ずお持ち下さい。上下別の合羽が理想的です。傘は不向きです。履き物は、トレッキングシューズ、ハイキングシューズあるいは長靴、川を渡りますのでぬれても構わない履き物で参加して下さい。虫除け、かゆみ止めをお持ち下さい。お弁当、飲み物も。

▽参加費用 1人1000円（テキスト・傷害保険代金）＊白神研究会会員の方は500円

▽主 催 弘前大学白神研究会
協 力：弘前大学農学生命科学部附属白神自然環境研究センター

▽問い合わせ&申込

弘前大学農学生命科学部 白神研究会事務局：中村 Tel/Fax 0172-39-3707
E-mail: dhalma@hirosaki-u.ac.jp

▽締切日 最終申込日は8月17日（金）ですが、定員になり次第締め切ります。



弘前大学白神研究会
協力：弘前大学農学生命科学部白神自然環境研究センター

平成30年度 弘前大学大学院保健学研究科 博士前期・後期課程
大学院進学ガイダンスのお知らせ（再掲）

保健学研究科では、第1期：8月25日（土）、第2期：1月26日（土）に博士前期課程（定員30名）及び博士後期課程（定員12名）の選抜試験を行う予定です。

この度、大学院進学に関心をお持ちの方々を対象に、保健学研究科博士前期課程・後期課程の教育内容や学習環境について紹介する大学院進学ガイダンスを下記の日程で企画しましたので、ご案内いたします。

1. 日 時：平成30年 7月 4日（水） 18：00～19：10
2. 会 場：弘前会場・弘前大学大学院保健学研究科 F棟1階 大学院講義室1
八戸会場・弘前大学八戸サテライト（八戸商工会館1階）
※双方向遠隔授業システムを使用した、両会場での同時開催となります。
3. プログラム

(1) 開会にあたって

保健学研究科長 齋藤 陽子

(2) 「大学院進学で得たもの、目指すもの」

生体検査科学領域
博士前期課程1年 小田嶋 広和

(3) 「博士号を目指して」

看護学領域
博士後期課程3年 高瀬 園子

(4) 大学院で学ぶことの意味

総合リハビリテーション科学領域
准教授 對馬 栄輝 先生

(5) 募集要項について

保健学研究科学事委員 小山内 隆生

(6) 質疑応答



4. 参加申込みについて

参加ご希望の方は、お名前、連絡先（電話番号）、進学をお考えの課程（博士前期課程・博士後期課程）・領域（看護学・放射線技術科学・生体検査科学・総合リハビリテーション科学・放射線看護高度看護実践コース）、参加希望会場をご記入のうえ、FAXまたはE-mailにて、6月22日（金）までに下記問い合わせ先にお申込みください。

問い合わせ先：弘前大学保健学研究科学務グループ
電話：0172-39-5470 FAX：0172-39-5912
E-mail：jm5913@hirosaki-u.ac.jp

青森家庭少年問題研究会
2018年度第1回学習会「あらためて成年後見制度について学んでみる」のお知らせ（再掲）

青森家庭少年問題研究会では、地域未来創生センターとの共催で、「成年後見制度」に関する学習会を開催します。

第1部では、成年後見制度の制度趣旨や手続きなどについて、初歩的なところから説明し、制度の理解を共有します。続く第2部では、成年後見制度に関して実務家の方々に体験談や制度の課題について話題提供をしていただき、それを踏まえて意見交換をします。

この制度はこれからはますます活用されていく可能性がありますので、興味のある方は、是非ご参加ください。

1. 日 時 : 2018年7月7日 (土) 15:00~17:30
2. 場 所 : 弘前大学人文社会科学部校舎4階多目的ホール
3. 対 象 : 本学教職員, 学生, 一般の方等どなたでも
※事前申し込みは不要です。
参加料等も必要ありません。
4. 内 容 : 第1部 講演
「資料から見る成年後見制度の利用状況の変化」
講師: 吉村顕真 (よしむら・けんしん)
(人文社会科学部・准教授)
第2部 話題提供・フリーディスカッション
5. 主 催 : 青森家庭少年問題研究会
共 催 : 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター



問い合わせ先 : 弘前大学人文社会科学部 平野 潔
電 話 : 0172-39-3199 E-mail : k-hirano@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学大学院保健学研究科「平成30年度 被ばく医療研修」開催のお知らせ (再掲)

弘前大学大学院保健学研究科では、本学が掲げる「放射線科学及び被ばく医療における安心・安全を確保するための国際的な教育研究の推進」の一環として「被ばく医療人材育成推進プロジェクト」を展開しており、平成22年度からスタートした看護師と診療放射線技師を対象とした緊急被ばく医療短期教育プログラム「被ばく医療研修 (旧名称・現職者研修)」の開催も今年で9回目となります。被ばく医療や放射線に関する知識の習得、他職種との協働を目的とした講義・演習に加え、2日目の演習では実際の被ばく事故を想定したシミュレーションを本番さながらの緊張感をもって実施いたします。

本研修は入門的内容となっておりますので、初めて被ばく医療を学ぶ方、放射線の基礎知識の習得や復習をお考えの方、また、他職種とのチーム連携や教育ネットワーク作りに興味のある方にも大変お勧めです。どうぞお気軽にご参加ください。

【募集コース】 看護職コース / 診療放射線技師コース

【開催期間】 平成30年9月1日(土)～9月2日(日)

【開催場所】 弘前大学大学院保健学研究科 (青森県弘前市本町66-1)

【対象者及び募集人数】 看護職者及び診療放射線技師 合わせて20名 ※先着優先

【プログラム】 ホームページ内に掲載されているプログラムをご覧ください。

被ばく医療人材育成推進プロジェクトホームページ

(URL) <http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibakupj/>

【受講料】 無料

【申込方法】 Eメールによる事前申し込みとなります。

上述サイトの特設ページからお申し込み手続きを行ってください。

【締め切り】 平成30年7月16日(月・祝) ※定員に達し次第早期締め切り



【その他】

- ・その他詳細についてはホームページをご覧ください。
- ・本研修は原子力規制庁が実施する「原子力災害時医療中核人材研修」とは異なりますのでご注意ください。

◎お問い合わせ先

弘前大学保健学研究科 総務グループ 桑田, 柏村

e-mail : hh_hh@hirosaki-u.ac.jp Tel : 0172-39-5518 Fax : 0172-39-5912

平成30年度 文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」 「看護職の原子力・放射線教育のためのトレーナーズトレーニング」開催のお知らせ（再掲）

この研修は看護教育に係る教員に放射線の知識を深めていただくために開催するものです。将来的には患者さんや原子力・放射線災害時の被災者の方々と最も身近に係わる看護職に、放射線に関する知識・技術を修得していただくことを目的としています。講義とともに放射線測定器による計測や移動型エックス線撮影装置による被ばく線量を測定するなどの演習を行い、放射線を身近に分かりやすく理解できるようにしています。看護職の方も受講できます。

- 【日 時】 ● 第3回トレーナーズトレーニング
平成30年7月7日(土), 8日(日)
● 第7回トレーナーズトレーニング
平成30年10月27日(土), 28日(日)

【場 所】 弘前大学大学院保健学研究科
(青森県弘前市本町66番地1)

【テーマ】 「看護職の原子力・放射線教育のための
トレーナーズトレーニング」

【対 象】 主に看護教育に係わる教育機関の先生方。看護職の方も
受講できます。(先着20名)

※申込先着順で定員に達し次第、申し込み受付終了とさせていただきます。

【スケジュール】 1日目：13時30分～18時00分（会場・受付開始／13：00）

- ≪講義≫ ①放射線利用における看護職の役割
②原子力・放射線利用の概要及び放射線の基礎
③放射線による健康影響とリスク

2日目：8時30分～13時00分

- ≪実習≫ ①自然放射線の理解
放射線測定器を用いた放射線の計測と霧箱による放射線の観察
②外部被ばくに対する防護方策
放射線防護の基本となる事項（時間、遮蔽、距離）
③移動型エックス線撮影装置に対する防護方策
撮影現場における線量の把握

注) 予定時間より延びることがあります。あらかじめご了承ください。

【受講料】 無料

「看護と放射線－放射線を正しく理解する」日本アイソトープ協会刊（2016）をテキストとして無料配布します。



【申込方法】 Web参加登録 Eメールによる事前申し込みとなります。

●下記URLから申し込み手続きを行ってください。

公益社団法人日本アイソトープ協会 <http://www.jrias.or.jp/>

【主催】公益社団法人日本アイソトープ協会

【協賛】弘前大学大学院保健学研究科

*本事業は、公益社団法人日本アイソトープ協会が、文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業（原子力人材育成等推進事業費補助金）」として3ヶ年計画（平成28年度～平成30年度）で実施しています。

【お問い合わせ先】 弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ（担当：柏村）

電話：0172-39-5518 E-mail：hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学資料館第19回企画展について

弘前大学資料館では第19回企画展「石」の世界を5月12日より7月12日まで開催いたします。

「石」というと人によってイメージするものが違うと思います。日本地質学会では、「県の岩石」、「県の鉱物」、「県の化石」をそれぞれ一つ選び出し、それらを総称して「県の石」と呼んでいます。本企画展もそれに倣い、岩石、鉱物、化石を取り上げます。そもそもどのように異なるかわからないという方も多いためです。

本企画展ではそれらがどのように定義されているのか、相互の違いは何なのかをパネル解説します。さらに、典型的な「石」、特殊な「石」を展示し、実物を元に「石」に関する理解を深めていただきます。また、「青森県の石」に選定された「にしき石」、「菱マンガン鉱」、「アオモリムカシクジラウオの化石」や、惜しくも選に漏れた「石」も展示します。特に、「アオモリムカシクジラウオの化石」は現在のところ1標本しかなく、普段は青森県立郷土館の収納庫に収められています。実物を見ることが出来る機会はありませんので、是非この機会にご覧いただければと思います。

みなさまのご来館をお待ちしております。

○弘前大学資料館第19回企画展
「石」の世界

会 期：2018年5月12日（土）～2018年7月12日（木）
（日・祝・休日は休館）

時 間：10：00～16：00

場 所：弘前大学資料館

本件問い合わせ先

・弘前大学資料館

電話：0172-39-3432 E-mail：jm3432@hirosaki-u.ac.jp

・弘前大学理工学部地球環境防災学科根本研究室

電話：0172-39-3618 E-mail：nemoto@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学資料館第19回企画展

「石」の世界



5月12日（土）～7月12日（木）

開館 10時～16時 日曜・祝日休館 入館無料

主催 弘前大学資料館・弘前大学理工学部地球環境防災学科根本研究室・同僚々木研究室

協力 青森県立郷土館

問い合わせ先 弘前大学資料館

0172-39-3432 jm3432@hirosaki-u.ac.jp



学 内 掲 示 板

学生特別支援室相談会開催のお知らせ

弘前大学学生特別支援室は、障害等により修学や学生生活に困難のある学生からの相談に応じ、よりよい学生生活が送れるよう支援しています。

このたび、教職員と障害等のある学生の支援について話し合うまたは相談し合うための機会として、今年度前期は以下の日程で相談会を開催します。

障害等のある学生の支援に苦慮している、支援室スタッフに尋ねたいことがある、あるいは障害学生支援に関心がある教職員の参加をお待ちしています。

日 時： 5月24日（木）、6月28日（木）、7月26日（木）、9月27日（木）
いずれも14：30～15：30（時間内は出入り自由です。）

場 所： 附属図書館3階 グループラーニングルーム

対 象： 本学の教職員
申込方法：事前申込み不要

参加スタッフ：室長，コーディネーター，カウンセラー，学生課職員

問い合わせ先：弘前大学学生特別支援室
T E L :0172-39-3266（内線3266）
E-meil : g-shien@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学創立70周年記念事業について

弘前大学は昭和24（1949）年5月に新制大学として発足して以来、平成31（2019）年に創立70周年を迎えます。

創立70周年に際して、国際化や男女共同参画の推進、学生支援の充実など、主として創立80周年までの10年間の教育研究の向上に資する事業を実施すべく計画を立てております。

ついては、多くの役職員の皆様から募金にご協力いただいているところではございますが、創立70周年記念事業を成功させるため、更なるご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、創立70周年記念事業のホームページでは、クレジットカードによる寄附も可能でございますので、ご活用いただければ幸いと存じます。

【創立70周年記念事業ホームページ】 <http://fund.hirosaki-u.ac.jp/70thproject.html>



学長オフィスアワー変更のお知らせ

学長と本学学生・教職員が直接対話する機会を設けるため、学長オフィスアワーを毎月第1金曜日及び第3木曜日に実施しておりますが、オフィスアワーの日程変更がありますのでお知らせいたします。

【中止】 平成30年7月6日（金）・19日（木）15：00～17：00

【変更】 平成30年7月4日（水）・20日（金）15：00～17：00

問い合わせ先：弘前大学総務部総務広報課（秘書室）TEL：0172-39-3004

URL：<http://www.hirosaki-u.ac.jp/information/about/president/officehour.html>

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第47号」では、「発見！国立大学」において、弘前大学公式ウェブマガジン「HIROMAGA（ヒロマガ）」が紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）最新号「国立大学第49号」

<http://www.janu.jp/report/koho/49gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail：jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029